

<b>A7654</b> <b>209系 多目的試験車「MUE-Train」タイプ 7両セット</b>	<b>予価:26,100円(税別)</b>
	JANコード: 129500      カートン内入数: 12

<b>A7662</b> <b>209系訓練車タイプ 東京・大宮総合訓練センター 2両セット</b>	<b>予価:11,500円(税別)</b>
	JANコード: 129586      カートン内入数: 24

**商品形態** Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り・A7654、2両用紙箱入り・A7662)

**実車** JR東日本では在来線用新型車両および新技術の開発を行うためのさまざまな試験を行うための多目的試験車「MUE-Train」を2008(平成20)年に登場させました。種車は京浜東北線で使用されていた量産第二編成(ウラ2編成)で、10両のうち7両が改造されました。屋上・床下に各種機器が搭載されたほか、パンタグラフがシングルアーム式のものに変更されたことが挙げられます。また、車体帯は「明るい未来、希望」を表現する白色のブロックパターンを基調とした大胆なもので、車体の下半分を覆う大面積のものが採用されました。各車の側面中央部分にグリーン色の「mue」ロゴが入れられてアクセントとなっています。改造後は川越車両センターに配置され、主に首都圏各地で「車両の性能向上に関する開発」「次世代車両制御システムの開発」「営業用車両を用いた地上設備の状態監視用機器の開発」に関わる走行試験が行われています。2009(平成21)年頃にはサハ209-8の側面中央部分の窓がふさがれており、製品ではこの姿をモチーフにしています。JR東日本では職員の訓練を行うための施設を保有しており、東大宮操車場に隣接しているのが東京・大宮総合訓練センターです。従来は103系を改造した訓練車を使用していましたが、営業用車両に世代を合わせた機材に更新することとなり、2008(平成20)年に長野工場で209系0番台を改造して登場しました。中間電動車ユニットに運転台を接合したもので、車体帯はE231系近郊型に準じた湘南色のものが貼り付けられました。車体にはTOKYO・OMIYAなどのロゴが貼り付けられていますが、形式やナンバーなどは特に掲出されておらず、異彩を放っています。

**商品概要** ・マイクロエース事業用電車シリーズの更なる充実  
・ヘッドライト、テールライト、前面行先表示器点灯。LED使用  
・フライホイール付動力ユニット搭載

**ステンレスボディに白のブロックパターンの多目的試験車**



- ・クーラーが車体中央付近にある川重製初期製造ボディを再現
  - ・サヤ209-8の中央窓が塗りつぶされた姿を再現
  - ・足を引き締める波打車輪装備
- ※部品共用のため一部実車と異なります



編成図 A7654

クヤ209 -2	モヤ209 -3	モヤ208 -3(M)	サヤ209 -8	モヤ209 -4	モヤ208 -4	クヤ208 -2
ライト						ライト

JR東日本商品化許諾済

**ステンレス車体にグリーンとオレンジのライン**



- ・運転室上に回転灯部品を取り付け
  - ・コンパクトなレイアウトに好適な2両編成のセット
  - ・足を引き締める波打車輪増備
- ※部品共用のため側面乗務員扉付近が一部実車と異なります



編成図 A7662

1号車(M)	2号車
ライト	ライト

JR東日本商品化許諾済

<b>オプション</b>	幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・黒:F0001
<b>付属品</b>	行先シール(A7654のみ)